

HPV

ワクチン接種

について

よくある質問



子宮頸がんの原因となる
HPVの感染を防ぐことで
将来の子宮頸がんを
予防できると
期待されています。



1

Q. 接種対象者について

【定期接種対象者】

小学6年～高校1年相当の女性

【キャッチアップ対象者】※2025年3月末まで

1997年4月2日～2007年4月1日生まれの女性

(すでに接種した回数も含めて3回まで接種無料)

2

Q. どこで予約できるか

お住いの自治体からの通知書や、自治体のホームページから、医療機関一覧をご確認ください。

3

Q. ワクチンの種類について

令和5年4月1日からシルガード®9(9価)ワクチンの定期接種化が開始されました。従来のサーバリックス®(2価)ワクチン・ガーダシル®(4価)ワクチンと比べ予防効果が高くなっています。

4

Q. 接種回数、かかる期間、費用

定期接種対象者とキャッチアップ対象者は、HPVワクチンを公費で受けられます。

ワクチンの種類や接種する年齢によって、合計2回または3回接種します。いずれも半年～1年の間に決められた回数、接種します。

※対象期間を過ぎると任意接種となり、接種費用は、自己負担(約4万～10万円相当)となります。

5

Q. HPVワクチンのリスクについて

詳しい情報をご覧になりたい方は右の二次元コードを読み込みの上、厚生労働省作成の令和5年度の『詳細版HPVリーフレット』をご覧ください。

